

## まだ1件も売れていない状態

動いているのに、変化がない感覚。

- 発信や準備は継続している
- 結果だけが出ていない
- 周囲の実績投稿に反応してしまう
- 自分だけ止まっている感覚
- 相談しづらい中間状態

## 原因の特定

能力不足ではない。「伝わり方」の未設計

- 判断材料が不足している
- 安心の根拠が見えない
- 相手視点で整理されていない
- 発信と判断が未接続
- ズレが積み上がっている状態

## 誤認の破壊

「すごさ」より「安心」が選ばれる理由

- × 才能や運の差という認識
- × 完成度が必要という前提
- × 自信がついてから出す思考
- × すごさで選ばれるという誤解

**未完成でも判断は起きる。伝わり方が全てを左右する。**

## 基本構造の提示

### 「誰のための一歩か」を明確に配置する

- 誰に向けたものか明示する
- 不安を先に言語化する
- 向いている人を限定する
- やり取りで温度を伝える
- 関係を途中で切らない
- 判断できる材料を出す
- 安心の根拠を配置する

# 変化の実感

## 実績が「スタート地点」に変わる瞬間

- 最初の依頼が発生する
- 判断が前に進み始める
- 自分の言葉に反応が出る
- 改善ポイントが明確化される
- 行動に確かな手応えが出る
- 次の一手が見える

## 最小アクション

### 今すぐ発信に加える要素

1. 対象者を限定する一文を追加
2. 不安を一つ具体的に言語化
3. やり取りの中で一言確認を入れる
4. 安心を感じる根拠を添える

- 関係を切らずに終える工夫
- 判断材料を一つ増やす
- 向いている人を明確に示す

# 資料の使い方

## — 初成果前の「再起動装置」として —

- 初成果前の修正基準
- 伝達ズレの確認用
- 判断材料のチェック表
- 停止状態からの再起動装置
- 発信改善の設計図
- 感覚依存を防ぐ基盤
- 行動継続の指針

## 次の行動選択

### 伝わり方を見直し、実績を掴む

- 判断材料を増やす選択
- 関係設計を整える選択
- 伝わり方を根本から見直す
- このまま同じ発信を続ける（現状維持）
- 完成度を上げ続ける（保留）